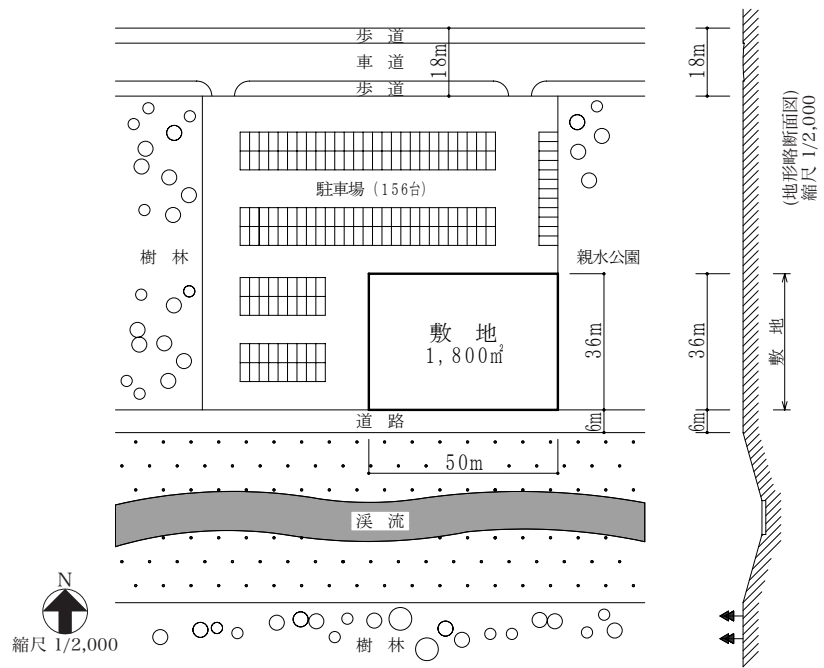


## I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の郊外の溪流沿いに建つ「道の駅」を計画するものである。本施設は、休憩、情報発信等のサービス施設に加えて、地域振興や地域住民の交流の場となるように、地域特産品売場、レストランのほか、地域住民も利用できる温浴施設を設けるものとする。また、敷地に隣接する駐車場は、本施設の利用者だけでなく、親水公園や溪流で水遊び・散策等をする者も利用することができるものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
  - 建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は200%である。
  - 主要な屋根は、勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 溪流の氾濫、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- 構造・階数等  
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
休憩・情報部門	休憩・情報スペース	・30人程度が利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・授乳室及びキッズコーナーを設ける。 ・自動販売機コーナーを設ける。 ・公衆電話コーナーを設ける。 ・交通情報・観光情報等を提供する情報パネルを設ける。 ・観光案内のためのカウンターを設ける。	適宜
	男性用便所	・大便器を5器、小便器を10器設ける。	計約12㎡
	女性用便所	・大便器を13器設ける。	
	多機能トイレ	・2室(約6㎡/1室)設ける。	
店舗・料飲部門	地域特産品売場	・陳列棚及びレジカウンターを設ける。	約200㎡
	仕分け室	・地域特産品売場用とし、冷蔵庫、食品加工室、倉庫を設ける。	約50㎡
温浴部門	レストラン	・屋内で50人程度が利用できるようにする。 ・屋外テラスと一体的に利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房を設ける。 ・眺望に配慮する。	適宜
	ロビー	・受付カウンターを設ける。 ・下足箱を設ける。 ・自動販売機を設ける。	適宜
	浴室	・男性用、女性用として、それぞれ15人程度が同時に利用できるようにする。 ・脱衣室に洗面コーナーを設ける。 ・自然採光及び自然通風に配慮する。	
	休憩室	・和室とする。 ・30人程度が利用できるようにする。 ・眺望に配慮する。	
共用・管理部門	リネン室		適宜
	エントランスホール	・風除室を設ける。	
	多目的室	・地域住民のイベント、会議、セミナー、ワークショップ等に利用する。 ・20人程度が利用できるようにする。	
	事務室	・4人分の事務スペースを確保する。	
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。 ・非常用の自家発電設備を設ける。	
	従業員控室	・男性用、女性用として、それぞれ各1室設ける。 ・ロッカーを設ける。	
防災備蓄倉庫	・外部からの利用に配慮する。	約50㎡	
・休憩・情報部門以外の便所及び倉庫については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

### 3. その他の施設等

- 屋外テラスを、次のとおり計画する。
  - 地上又は1階の屋上に、まとまったスペースで50㎡以上設ける。
  - レストランと一体的に利用できるようにする。
  - テーブル、椅子等を設ける。
- 敷地内の駐車場は、地上に平面駐車とし、車椅子使用者用として2台分、サービス用として2台分を設ける。
- 地上に、屋外休憩スペースを50㎡以上設ける
- (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - 休憩・情報部門、店舗・料飲部門、温浴部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - 24時間利用可能なエリアとそれ以外のエリアを明確にゾーニングし、夜間利用に配慮する。
  - 勾配屋根の形状を活かした室内空間となるように計画する。
  - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - 浴室の給湯設備は、熱源機器と貯湯槽からなる中央給湯方式とする。
  - エレベーターを適切に設ける。

## II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 24時間利用可能なエリアとそれ以外のエリアの区分(破線で図示する。) ホ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ヘ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ト. 設備計画に応じた設備スペース チ. 断面図の切断位置 リ. 屋外テラス ヌ. 要求室の特記事項に記載されている什器等
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 敷地内の駐車場 ハ. 屋外休憩スペース ニ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ハ. 2階の屋根の形状(軒先、棟等を一点鎖線で図示する。)
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、建築物の全体の立体構成及び勾配屋根の形状を活かした空間構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、主要な室名及び屋根の勾配を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ゾーニング計画について工夫したこと
  - 休憩・情報スペース、レストラン及び浴室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - 勾配屋根の形状を活かした室内空間とするために工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 構造上の特徴及び構造計画に特に配慮したこと
  - 勾配屋根の架構計画について、その特徴及び特に配慮したこと(図等により補足してもよい。)
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 浴室の給湯設備において、採用した熱源方式と採用した理由及び熱源機器の設置場所について配慮したこと
  - 「浴槽ろ過機」、「非常用発電機」及び「地域特産品売場の空調機」について、その設置場所を記入し、維持管理及び機器の更新について配慮したこと
- 建築物の特徴(勾配屋根、吹抜け等)に対応した環境負荷低減について、配慮したことを具体的に記述する。なお、断面図等において補足してもよい。

試験場	受験番号	氏名